

緑化だより

No.206 令和6年7月号



サワオトギリ

- 季節の花 (ムラサキ)
- 水生昆虫の話 (アカザ)
- 小さな世界こけ (ホンモンジゴケ)
- 研修会のご案内
- お知らせ・ご案内
- 展示会

ryokka 遊学の森

広島県緑化センター



〒732-0036 広島市東区福田町 10166-2



広島県
緑化センター
二次元コード

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843 URL <https://ryokka-c.jp>

季節の花

ムラサキ

「茜(あかね)さす 紫野(むらさきの)ゆき 標野(しめの)ゆき

野守(のもり)は見ずや 君が袖(そで)振る

額田王(ぬかたのおおきみ) 万葉集 卷1-20

これを訳しますと

(茜色にかがやいている 紫草(むらさきぐさ)が栽培されている野 一般の人が立ち入ることを禁じられている野を あなたは行き来して 私にそんなに袖を振っていると 野の番人が見ているかもしれませんよ。)

現在の滋賀県蒲生^{がもう ゆりょう}で遊^{おおあまのみこ}獵の帰^{てんむてんのう}り、大海人皇人(額田王の最初の夫で後の天武天皇)が、ムラサキの白い花が沢山に咲いている野での行^{なかのおおえのおうじ}いに、今でもひそかに思っている前の夫のことを気遣^{てんちてんのう}って歌われています。額田王はその頃中大兄皇子(後の天智天皇)と結婚していました。

ムラサキの根は染料に用いられて、染め上がった紫色は、気品があり、とても神秘的な高貴な色で、古代の貴人の服装や冠の色でもありました。また病を治す力もあると言われて、有用植物として各地で栽培し朝廷に収めていました。

ムラサキはムラサキ科ムラサキ属の多年草です。北海道、本州、四国、九州に分布し比較的、冷涼な日当たりの良い山地の草原とくに石灰岩地帯に自生しています。花は6月～7月、白色で直径8mmの5弁の花が咲き、高さは40～70cmに成長します。

茎はまっすぐ立って側枝を伸ばし、紫色をした根は太く、乾くと濃紫色となります。昔から紫色の染料のほかに漢方薬として皮膚炎や強心剤にも利用されていました。

古代には「群れて咲く」から「ムラサキ」と名付けられたほど、よく繁殖しており、奈良時代から明治時代に栽培されていましたが、現在、自生地は土地の開発など環境の悪化、気候の温暖化によって数が減少しており環境省は絶滅危惧種に指定しています。(上村)



ムラサキ

水生生物の話

アカザ

季節はすっかり夏ですね。この季節になると、森林のヒンヤリした空気がとても気持ちよく感じられます。小川の流れる音、風で木々がザワザワと揺れる音、小鳥やセミなどの虫の音…街中の蒸し暑さを忘れさせてくれる自然のパワーを全身に浴びると幸せを感じずにはいられません。森林の溪流で水の中に足を入れるとヒンヤリして気持ち良いですね。

広島県では主に水のきれいな上流域に生息していて、出会えたらとてもラッキーな赤い魚をご紹介します。

この赤い魚、環境省のRDBで絶滅危惧Ⅱ類(VU)、広島県でも準絶滅危惧(NT)にも選定されており、緑化センターの小川のような水のきれいな石がごろごろしている場所で、石の下に生息しているこの魚は、ナマズ目ギギ科アカザ属の「アカザ」といいます。

日本固有種で、東北よりも南の本州、四国、九州に広く分布しています。

アカザは円筒型で、ナマズにしては頭が小さく、頭が丸いドジョウのようにも見える姿をしており、口ひげが4対(8本)あります。広島では割と赤い色をしています。別の地域では異なる色合いの個体もいるようです。

ナマズの仲間にしては小柄で、体長は最大

でも10cm前後。夜行性で主に水生昆虫を食べ

ています。産卵期は5~6月で、この時期には卵から生まれた小さな個体を見ることができます。

高温が苦手。水温が高くなるとだんだん弱ってしまうため、比較的流れのある冷たい場所で探すと出会うことができます。

この魚、なんと背びれと胸びれには毒腺のある棘があって、うっかり刺されると手を切るように痛いことから、広島では「テンキリ」とか「チョウキリ」などとも呼ばれています。

石と石の間を、滑らかな体で縫うようにスルスルとすり抜けて泳ぐので、なかなか容易には捕らえることができないため、上手く網に入ってくるととてもうれしい魚でもあります。

近年の土砂災害や、河川改修などによる土砂流出などによって、川底に砂がたまって隠れ場所である石の隙間が埋まってしまい、アカザの生息条件が悪化してきたことで、全国的にもだんだん生息数が減少しているため、生息環境が改善されることを強く願います。(西村)



アカザ

小さな世界 こけ

ホンモンジゴケ

このコケはお寺や神社の銅葺き屋根の下などに見られ、銅を含んだ雨水が落ちる場所を好んで生育します。

普通、植物にとって重金属は有害なものです。ホンモンジゴケは銅を体内に取り込んで蓄積する性質があります。

残念ながら緑化センターでは見ることはできませんが、お寺や神社に参拝する機会があれば、本堂や手水舎が銅葺きでしたら、雨水が流れ落ちる地面や石垣を観察してみてください。軽く触れると柔らかでフカフカしたマットを作っているホンモンジゴケに出会えるかもしれません。

濃い緑色で、茎の長さは5~15mm。葉は舌状でつやがあり、長さ約1mm、幅約0.5mm、葉先は尖り、中肋は葉先近くまで伸びています。

このコケは世界中の銅鉾山などに分布しています。

日本では1910年(明治43年)、池上本門寺の五重塔で最初に発見されたことに因み、つけられました。

廿日市市の旧タングステン鉾山跡にも群落があり、廿日市市の天然記念物に指定されています。(山根)



廿日市市 地御前神社 石段の縫いの「ホンモンジゴケ」



ホンモンジゴケのマット



ホンモンジゴケの拡大(5倍)

研修会のご案内

- | | |
|---|--|
| ○ 7月4日(木) 『7月の自然探勝』
散策路を歩きながら植物を観察します
※自由参加、無料、 | 10:00～12:00 学習展示館前 集合
講師：森林インストラクター
駄賀 恒男 |
| ○ 7月4日(木) 『イネ科植物の見分け方』
身近なイネ科植物の同定方法を学ぼう！
※自由参加、無料、ルーペ持参 | 13:30～15:00 学習室 集合
講師：森林インストラクター
駄賀 恒男 |
| ○ 7月7日(日) 『夏のきのご教室』
園内でキノコを採集し、午後、持ち寄ったキノコを鑑定します
※自由参加、無料、採集用かご持参、 | 10:00～14:00 第3駐車場 集合
講師：きのこアドバイザー
川上 嘉章 |
| ○ 7月15日(月・祝) 『藍のトントン染め』
藍の葉をトントンたたき、ハンカチを染めよう
※要予約(先着10組)、材料費500円 | 10:00～12:00 学習室 集合
講師：サイエンス インストラクター
山縣 圭子 |
| ○ 7月21日(日) 『夏休み昆虫教室』
昆虫の生態や採集方法を学び、屋外で採集します
※要予約(キャンセル待ち)、無料、採集用具持参 | 10:00～12:00 学習室 集合
講師：技術士(環境部門)
亀山 剛 |
| ○ 7月21日(日) 『夏休み自由工作塾』
※自由参加、(随時受付)、材料費1作品100円、 | 10:00～15:00 レストハウス裏庭
講師：緑化センターボランティア
ふれあい湧 |
| ○ 7月28日(日) 『昆虫標本作り入門』
昆虫について学び、標本を作ります
※要予約(キャンセル待ち)、材料費1,000円 | 10:00～12:00 学習室 集合
講師：技術士(森林部門)
相良 伊知郎 |
| ○ 7月28日(日) 『夏休み自由工作塾』
※自由参加、(随時受付)、材料費1作品100円、 | 10:00～15:00 レストハウス裏庭
講師：緑化センターボランティア
ふれあい湧 |

☆お知らせ・ご案内 ☆♪

第8回ひろしま遊学の森

四季の移ろい写真コンテスト

写真募集中 締切り;11月30日(土)

詳細はHP,チラシでご確認ください。

◎展示会

場所: レストハウス
(ボード展示)

・第15回ひろしま遊学の森

こども写生大会作品展

～7月3日(水)

・広島県愛鳥週間ポスター

入賞作品展

7月19日(金)～8月4日(日)



令和5年度広島県愛鳥週間
ポスター入賞作品展より